

春

SYUNJUSAI
熊本県立大学・学報

2003.10
VOL.19

秋

■春秋彩とは

万葉集の額田王の春秋を論じた歌の詩書「春山の万花の艶と秋山の千葉の彩」から採ったもの。「春秋」には年月の意味もあり、「春秋に富む」若者を彩る学園の四季を表している。

彩

天下の熊本県立大学を目指して

熊本県立大学長

菅野道廣



いま、わが国の大学では徹底的な再構築が行われています。受験年齢高校生の激減という現実の中で生き残るためには、学生を主体としてとらえる大学への改革は不可避となつていくからです。

熊本県立大学はこの時流を好機と受け止め、今までのどの改革でも経験しなかつた取組がなされています。何よりも先ず、教員の「リフォーム」です。学生による授業評価を行い、学生の意向を真摯に聞き、問題点への対応を明示して授業の改善を行っています。学生の評価など価値を認めないとする旧態依然の意見は時代錯誤であり、一方的で自己満足的な講義は許されません。そして、ファカルティディベロップメント(FD)を実施し、教えるための技術を学んでいます。教員はこれまで、「教育術」に馴染まず、このことはまさに至難の業ですが、改造しなければなりません。授業は教員評価の重要な判断材料となり、もはや「教える」だけの授業は価値を失っています。学

生にいか「学ぶ意欲」を抱かせるかが焦点です。このような教員側の取組によって、はたして学生の満足度は高まっているのか最大の関心事です。完全な答えは時期尚早ですが、定期的を開いている学生との懇談の場を通して学生の声を聞く限り、明らかに改善は認められています。最善を求め一層邁進しますが、学生も大学側の努力に積極的に応えて欲しいものです。

明春からの国立大学の法人化が大学改革に油を注ぎ、県立大学としてあるべき姿を如何に表現するかが求められています。伝統を活かし、かつ、現代の社会的要望に叶う全学一致しての大学づくりが課題です。天下の熊本県立大学を築く夢を実現するために、学外からの多くの声を待っています。

Contents

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1 学長挨拶 | 8 学生の声・サークル便り |
| 2 教育充実のための取組 | 10 後援会便り |
| 4 教員の研究紹介 | 11 キャンパス・ニュース |
| 5 海外研修報告 | 12 平成15年度後期行事予定・イベントお知らせ |
| 6 就職状況・卒業生からのメッセージ | |
| 7 10月以降の就職支援 | |

ための取組

本学では、大学間の競争が激化する中、個性が輝く大学として存続していくため、「教育の重視」と「地域への貢献」を改革の基本方向とする「熊本県立大学の改革方策」を昨年3月に策定し、現在54の改革方策を推進しています。

教育重視の取組としては、プレゼンテーション能力等、学生の基礎的学習能力を高めるため、1年前期に少人数形式の教養演習を全学部で「ブレゼミナル」として今年度新設したり、学習や将来の進路等学生のような悩み相談するための「オフィスアワー（*1）」制度を昨年度から実施しています。また、総合管理学部では、自己推薦型入試（アドミッション・オフィス入試）（*2）を今年9月に初めて実施するなど、着実に改革の具体策に取組んでいます。今回から、教育の充実のための取組状況について、報告していきます。

*1 オフィスアワー

授業に関する質問や、学生生活上の相談などに応じるための時間として、教員があらかじめ指定する特定の時間帯のこと。その時間内であれば、学生は基本的に予約なしに研究室を訪問できます。

*2 アドミッション・オフィス入試

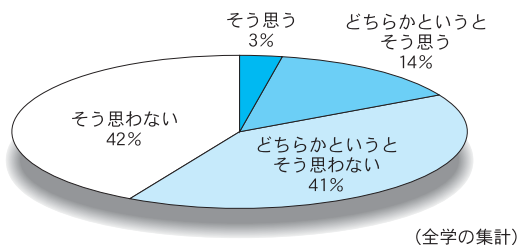
高等学校校長の推薦を必要とする推薦入試と異なり、自分の意思で出願できる公募制の入試制度。学力に偏ることなく、詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることで、受験生の能力、適正や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定します。

授業評価アンケート

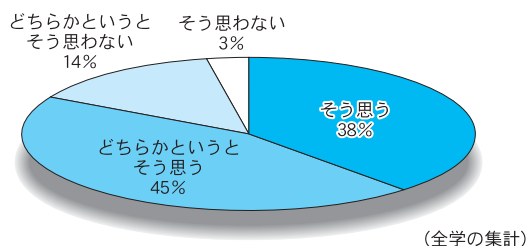
授業評価アンケートは、教育を受ける側に立つ学生の視点から、大学の教育活動を見つめ直すため、平成11年度から実施しています。前期、後期の終了1〜2週間前の授業の時間に、各教員がアンケート用紙を配布し、学生は自由に回答し、その回答用紙を学生自らが回収する方式をとっています。平成14年度の後期の授業評価アンケートでは、学部で開講される全ての講義を対象に実施された授業数は160科目（本学教員の授業120、非常勤講師の授業40）、回答総数は8,530枚にも上りました。「授業内容を理解できたか」、「教員の熱意は感じられたか」、「授業に満足できたか」など21の項目に対し四者択一で回答する設問と、「授業及び教員に対する感想」を自由に記述する項目を設けました。結果は授業ごとに集計され、本学の学生であれば図書館で閲覧することができます。また、学部、全学単位の結果はホームページにも掲載しています。一方結果は教員へも送付されていますので、授業内容や授業方法の改善につなげていくことが期待されます。今後も毎年2回、前期、後期のペースで実施していきますので、皆さんの授業に対する日頃の思いをアンケートに記述してください。

*平成14年度後期アンケート結果（抜粋）

「機会があれば質問、発言を行うなど積極的な態度で臨みましたか」



「総合的に判断してこの授業に満足できましたか」



アンケート結果の詳細は、本学ホームページ <http://www.pu-kumamoto.ac.jp/events/> に掲載されています。

FD研修

7月3日（木）午後5時半から文学部主催のF・D（ファカルティ・ディベロップメント）研修会が開催されました。F・Dとは教員がより質の高い教育を提示できるように、授業内容や方法を改善・向上させるための組織的な取組のことで、講師に浅野誠氏（前中京大学教授）をお招きし、授業づくりの「ワザ」と題してワークショップ形式で行われました。当日は、学生を惹き付けるための多くの授業実践例が紹介され、本学教員も数十年前ぶりに学生に戻ったように、終始なごやかな雰囲気の中で進行しました。

*紙飛行機討論（写真）・・・紙飛行機に意見を書いて飛ばし、拾った者がさらに意見を書いて紙飛行機を折って飛ばしていくという、学生の率直な意見を引き出すための手法



教育充実の

現場に学ぶ

本学では、フィールドワークに全学的に取り組むことに力を入れ、理論を学ぶとともに、現場に学ぶことを重視しています。文学部日本語日本文学科の日本語教育実習と受託調査事業（*3）で三加和町の地域調査を体験した学生から実際に活動をしてみての感想、現場での活動から学んだことを報告してもらいました。

*3 受託調査

市町村からの委託を受け、学生が地域現場に学ぶことと地域の課題解決支援を結びつけた事業で、今年度から実施。今年度は、水俣市、三加和町、大津町からの委託を受け、総合管理学部の3つのゼミで現在調査実施中です。

黒髪小学校で日本語を教えてみて

文学部 日本語日本文学科4年
湯之上 和美さん

外国人に対する日本語教育の実習で5日間、黒髪小学校で行われた「夏休み日本語教室（後期）」に6名の学生が参加し、授業を行いました。「夏休み日本語教室」は日本語教育を必要としている熊本在住の小・中学生を対象として行われている活動です。今回は22名の児童・生徒を小・中学生各2クラスに編成し、指導にあたりました。授業開始前には全員でゲームを行い、児童・生徒間や児童・生徒と学生間でコミュニケーションをはかる時間を設けるようにしました。小学生クラスではゲームを取り入れ、遊びながら学べるような工夫をし、中学生クラスではコミュニケーションをとりながら授業を展開し、楽しく活動できるように心がけました。児童・生徒の対応に追われ、授業が予定通りに進行しないこともありましたが、参加した児童・生徒の感想の中には「楽しかった」「おもしろかった」「また一緒に勉強したい」といったものが多く見られました。黒髪小学校の先生方に多くの面でサポートしていただきながら、この5日間の実習を、試行錯誤しながらも楽しく充実したものにすることができました。児童・生徒に対する日本語教育に触れる機会をいただけたことに感謝しています。



三加和町地域調査

総合管理学部総合管理学科3年
小泉ゼミ 松田博史さん

8月21日より我々小泉ゼミ3年一同は3泊4日で玉名郡三加和町へ地域調査を行うために行き、町民の方々のお宅を直接訪問しアンケート調査を実施した。そもそもなぜ今回調査を行うことになったのかというと、三加和町は町民三人に一人が高齢者という過疎地で若者離れがなかなか食い止められないため、役場から我々へ調査結果を基に現状を打開する策を若者の観点から提案して欲しいと依頼されたからである。私は今回初めて三加和町へ行ったが、実際3泊4日過ごして調査を行って僅かながら三加和町の抱える問題を肌で感じる事が出来たと思う。交通の便が悪い・仕事がないため若者が外へ出て行き後継者がいない・高齢者には厳しい高低の激しい土地柄など目に見える問題点が挙げられるが、私が最も懸念したのは町民の方々に質問をしてみても自分の町に対して不満や要望を述べる方は少なく、現状に満足というより何も変わらないという半ば諦めの心境が垣間見えた点である。しかし、三加和町に愛着のある人達ばかりであるのは確かなので、三加和町の長所を生かした地域づくりを我々が調査結果を基に提案し、少しでも町民の方々の意識を変える手助けが出来れば幸いであると思う。



自転車で調査先に向かう松田さん▶

学生と学長の懇談会



本学では、学生の意見を参考とし、よりよい大学づくりを実現するため、学生と学長の懇談会「今年度から毎月開催しています。これまで3回の懇談会を開催

し、「就職に関すること」、「授業に関すること」、「大学生活に関すること」を主だったテーマとして懇談してきました。その中では、「就職のためのセミナーに出席できるような時間割に見直して欲しい」、「英語を母語とする教員による英語の授業を増やして欲しい」等の意見や要望が出されました。また、施設の面で要望が出された、車の速度を落とすための段差やカーブミラーの設置、環境共生学部棟横の駐輪場の増設については、早急に工事を行い対応しました。

これからも毎月、懇談会を開催していきます。既にたくさんのお声もあっております。熊本県立大学をより輝く大学とするために、皆さんの意見をお待ちしております！

■開催日 毎月1回

（期日・時間は、毎月変動。学内掲示板で周知します。）

■問い合わせ先

事務局企画課（内線225）

● 教員の研究紹介 ●

16世紀イギリス植物誌

(Herbal) と文学



文学部 教授
樋口 康夫 (イギリス文学)

私はもともとシエイクスピアやクリストファー・マーローなどのエリザベス朝の演劇を研究していました。15年

程前から作品の中に登場する植物の文化の基層としての意味や象徴性に興味を向いて参りました。例えば、薔薇は日本でもイギリスでも美しいものの象徴であることは変わりませんが、中世のキリスト教では、これが始めキリストの受難や殉教のシンボルとなり、さらにキリストに表された神の愛や聖母マリアを象徴するものへと変化しました。様々な花の意味合いや象徴性は日本のものと大きく異なります。

それが、当時の文献である植物誌 (Herbal) などを調べているうちに、次第に植物誌そのものの研究へと対象が移りました。ここ10年程はもっぱら Henry Lyte 訳の *A Nieuwe Herbal* (1578) の研究をしています。この本は、現在のベルギー、当時はフランドルと呼ばれた地方の出身の医師兼植物学者であった R. Dodonaeus の著作である *Cruydeboeck* (1554) の仏訳 (1557) からの重訳となります。ドドネウスは当時ヨーロッパ第一級の植物学者で、神聖ローマ皇帝のマクシミリアン2世の侍医となり、その後、ライデン大学で教鞭をとりました。この本が翻訳されたことによってイギリスの植物誌のレベルはようやく大陸のそれと肩を並べるようになりました。

昨秋以来、縁あって文学部の英語英米文学科に籍を



Cruydeboeck (1554) 初版本の表紙

おかして戴くこととなり、古巣に戻ったような気持ちです。そろそろ本業の演劇研究や植物の象徴の研究に戻る頃合となったと実感しております。

環境を計る

ーより微量、より正確に



環境共生学部 教授
古賀 実 (環境分析化学)

野の研究に応用されるようになって30年余りになります。高分離能をもつガスクロマトグラフィ (GC) と組み合わせた GC/MS 法は、環境分析において依然主力分析手法であり、pg (ピコグラム、 10^{-12}) オーダーの超微量環境汚染物質の検出が可能です。

我々の環境分析化学研究室では、最新の分析機器・技術を駆使し、水、大気、土壌、血液や母乳など環境および生体試料中に存在する有害汚染物質の微量分析、挙動調査、そして分析手法の開発などを主な研究テーマにしています。これまでヒト血清中塩素系農薬の残留レベル調査、屋久島山岳部に飛来する大気汚染物質の検出、放電プラズマ処理における大気中有害環境汚染物質の分解過程の解明などを手掛けてきました。また最近では環境汚染物質の化学分析だけではなく、汚染物質に対する生体側のレスポンスを利用する影響評価実験も始めました。現在二枚貝を使った基礎実験を行っているのですが、これまでの化学分析のデータを考え合わせることで、複雑な自然生態系で観察されている様々な異変を、より科学的に解明出来るのではないかと考えています。



高分解能質量分析計の調整

質 (重さ) の異なるイオンが、電場・磁場でそれぞれ別の質量ごとに分離される質量分析法 (MS) が環境化学分野

カネの流れはパズルだらけ



総合管理学部 講師
森 直哉 (財務管理論)

企業の資金調達や設備投資、投資家に対する利益分配などを研究しています。一見すると単にカネ儲けの仕方を扱っているようで、学問的な二オイが薄いと思われるかもしれませんが、希少な資源 (カネ) を効率的に使うことを問題にしているので、ファイナンスは経済学の一つです。

ここ数年はずっと配当政策の研究をしています。税制との関係で、企業はなるべく配当をしないのが望ましいことになりました。にもかかわらず、現実の企業は配当を続けているし、投資家もそれを欲しがるという不思議な現象が生じています。この事実は過去40年間のファイナンス学者をおおいに悩ませてきましたし、今でも解明されていない最大級のパズルです。

世間ではやや誤解されていますが、「理論的に説明できないから現実がおかしい」と考えているわけではありません。一見すると不合理な人間行動のなかに何らかの合理性が隠されているはずで、それを探し出して説明できることが重要です。現在、私なりの問題意識で従来弱かった観点からの分析を進めています。この研究テーマに限らず、カネにまつわる現象はパズルに満ち満ちているようです。



東京証券取引所の外観



環境共生型都市の 歴史的背景を求めて

環境共生学部 助教授 坪原 紳二

留学先：フローニンゲン市（フローニンゲン大学）
（オランダ）

留学期間：2002年9月～2003年6月（10ヶ月間）



図版1：中心市街地を四分割

私が滞在先としてオランダ・フローニンゲン市（人口17万6千）を選んだのは、まさにこのまちの都市計画の歴史を研究したかったからである。同市は1977年9月19日、中心市街地に一方通行規制を全面的に導入し、ドライバーに対し事実上、中心市街地を四つのゾーンに分割した。一つのゾーンから他のゾーンに車で移動するには、一度環状線に出なければならぬことになり、これによって同市は中心市街地の自動車交通量を半減させることに成功するのである。また同市は、世界で3番目（1位と2位は中国の都市）と言われる、自転車利用率の高い都市、そしてそのための施設が充実している都市としても知られている。こうした環境にやさしい都市計画実現の

歴史的背景を探ることが、目標だった。研究は主として、同市公文書館での1970年代の地元紙の分析、及びフローニンゲン大学図書館、市役所での各種計画書収集からなっていた。歴史を探る上での史料が極めて豊富にあり、しかもそれを研究する環境がすばらしかった。最初の4ヶ月間、大学で相部屋だったティン・ヤンとアップは、幾度となくオランダ社会について個人講義をしてくれた。オランダ都市計画の権威、ヘンク（プロフェッサー・フォーフトと呼んでいた）らやめてくれと言われた）は、専門的な助言はもちろん、図面のスキャンまで手伝ってくれた。受入れ教授のイギリス人、グレッグは、奥さんともども、私の英文のレポートを添削してくれた。オランダ語が理解できなければ、大学院生が喜んで教えてくれる。そして最後には、休暇中でスタッフが足りないにもかかわらず、帰国に際し持たせたいと、秘書のミランダが急いで私のレポートを出版してくれた。研究を通じ最も驚いたことは、都市計画における政治の役割の大きさである。上の四分割規制も、大学出立の若者が市議になり、都市計画の責任者となり、彼主導でいわば強引に導入してしまったのである。わが国の都市計画にとり示唆に富む知



図版2：車道の両脇に自転車道

見が得られたように思う。生活も実に楽しかった。特に自転車好きの私にとっては、天国のような所だった。大学まで片道8kmを自転車で通勤していたのだが、ほとんど全行程、自転車道を通って大学まで行ける。その沿道の景色がすばらしく、毎日のように、公園の緑や歴史的街並みに感動していた。同時にまちの人々の優しさ・気さくさにも、これまた毎日のように感激させられていた。フローニンゲンに行く前は、このまちに単に興味があつたに過ぎなかった。10ヶ月間過ごしてみて、すっかりフローニンゲンにほれ込んだ。Dank u wel（ありがとう） Groningen!

就職状況

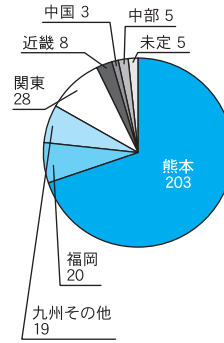
1. 過去3年間の就職状況内訳

進路状況		平成12年度					平成13年度					平成14年度								
		文学部		生活科学部		総合管理理学部	文学部		生活科学部		総合管理理学部	文学部		環境共生学部		総合管理理学部				
		日本語日本文学科	英語英米文学科	食物栄養学科	生活環境学科	合計	日本語日本文学科	英語英米文学科	食物栄養学科	生活環境学科	合計	日本語日本文学科	英語英米文学科	生態・環境資源学専攻	居住環境学専攻	食・健康環境学専攻	合計			
	卒業生総数	42	38	35	39	276	430	35	34	39	41	253	402	30	37	24	34	36	301	462
内訳	1. 就職希望者数	27	19	26	31	201	304	26	21	34	35	195	311	19	28	14	21	22	230	334
	決定者数	26	16	26	21	187	276	17	16	32	23	165	253	16	22	14	15	21	203	291
	就職率	96.3	84.2	100	67.7	93.3	90.8	65.4	76.2	94.1	65.7	84.6	81.4	84.2	78.6	100	71.4	95.5	88.3	87.1
	2. 進学希望者数	4	5	3	4	7	23	3	5	1	3	6	18	5	4	9	8	9	4	39
	3. その他・不明	7	6	2	1	19	35	3	7	3	2	15	30	2	3	1	4	2	32	44

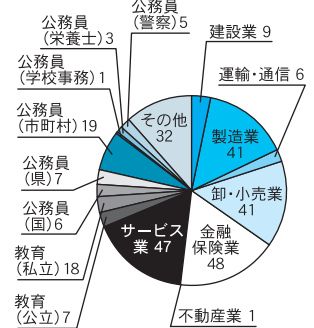
※就職率：決定者数/就職希望者数（就職希望者数は公務員志望者、教員志望者数を除く）

2. 地域別・業種別就職状況 (平成14年度)

地域別就職状況



業種別就職状況



3. 過去3年間の主な就職先一覧

文学部

日本語日本文学科

熊本県教員・各県教員・各市職員・アデコキャリアスタッフ九州・ウルトラハウス・関西語言学院・九州産業交通・熊本大同青果・熊本ファミリー銀行・熊本放送・久留米ゼミナール・国際協力事業団・サンクスジャパン・ジオス・ジョイフル・私立高校教員・昴・地域経済センター・東京海上火災保険・ベネッセコーポレーションほか

英語英米文学科

熊本県教員・各県教員・各市職員・RKKコンピューターサービス・ウルトラハウス・九州産業交通・熊本県経済連・熊本YMCA・雇用促進事業会・JAL九州サービス・私立高校教員・鶴屋百貨店・東京エレクトロン九州・東京海上火災保険・日本航空・NOVA・福岡エアサービス・メディアプレス・リクルート・リード九州ほか

環境共生学部

生態・環境資源学専攻

熊本県職員・尾鷹林業・化学及血清療法研究所・環境調査研究所・九州産廃・九州サントリープロダクト・国土環境・同仁グローバル・日本リモナイト鉱業・バナファームラボラトリーズ・マテラル（平成15年3月卒業者のデータより）

居住環境学専攻

各市職員・穴吹工務店・インハウス久永・九建ホーム・国際協力事業団・サンスイコンサルタント・私立高校教員・新産住拓・積水ハウス・全日空トラベル九州・タカスタンダード・ダイワ建設・中央メテリアル・農山漁村文化協会・東日本ハウス・本田設計コンサルタント・マツクアビー・南九州ペプシコーラ販売・悠木産業ほか

食・健康環境学専攻

熊本県職員・各県職員・各市職員・各種学校栄養士・各種病院栄養士・五木食品・お菓子の香梅・化学及血清療法研究所・熊本製粉・熊本県成人病予防協会・再春館製菓所・私立高校教員・日清医療食品・ハウディ・富士産業・富士甚醤油・マルキン食品・丸美屋・三和酒類・明治製菓ほか

総合管理学部

総合管理学科

国家公務員・熊本県職員・熊本県警察官・熊本市職員・各県職員・各市町村職員・NTTドコモ九州・化学及血清療法研究所・九州ジャスコ・行政システム九州・熊本ファミリー銀行・熊本県民テレビ・熊本第一信用金庫・熊本中央信用金庫・熊本県経済連・熊本県社会福祉協議会・熊本計算センター・熊本情報処理センター・熊本リコー・熊本ゼロックス・金剛・サントリー・JA熊本・セブンイレブンジャパン・全日空トラベル九州・大和証券・地域経済センター・鶴屋百貨店・東京エレクトロン九州・日本赤十字社熊本県支部・日本マクドナルド・西田鉄工・野村証券・肥後銀行・ホームセンターサンコー・南九州ココラボトリング・安田生命保険・レイメイ藤井ほか

卒業生からのメッセージ

「何でもいいんです！」



タカスタンダード(株)
平成15年4月入社
林田 和也 さん
(総合管理学部総合管理学科卒)

私の大学生活は野球一筋でした。全国制覇を目指し、チーム一丸となって日々練習に励んだことを思い出します。全国制覇を果たすことはできませんでしたが、全員で一つの目標に向かって突き進むという貴重な体験ができました。

3年生の秋に引退を迎えると、今度は就職活動に目標転換をし、同期のメンバーと共に頑張ることにしました。一つの事に打ち込んできた私達にとって、それは大きな自信となり、それぞれ希望の所へ入社することができました。「様々な人の様々ないい部分を吸収し、自分を磨きたい」そんな目標を定め、社に出たいと考え、私は営業職に就きました。現在、想像以上に色んな人がいることを痛感し、全てが勉強と考え、一日一日を過ごしていく日々が続いています。

何でもいいんです。何でもいから自分が打ち込める事を見つけ、それに一生懸命になれたら、それは最高なことだと思います。貴重な大学での4年間、頑張っても何もいなくても過ぎていく時間です。だったら、自分のやりたいことをやらないと絶対損ですよ！何でもいから、「これっ！」というものを見つけて、それに励んでみてください。きつと充実した大学生活を送れるはずですよ！

10月以降の就職支援

■ 3年次就職支援イベント

10月 3年次就職ガイダンス

本格的に始まる就職活動を前に、就職活動の自覚と心構えや就職活動の進め方について説明します。

10月 公務員合格者発表会

平成15年度公務員合格者から受験勉強の体験を聞くことにより、公務員を目指す3年生の対策に役立てることができます。

10月～平成16年2月 就職セミナー

就職活動の事前対策として、年内に「準備編」、2月中旬に「直前対策編」を実施します。準備編では①自己分析、②業種・業界研究、③筆記試験対策、④エントリーシート対策、⑤面接・マナー対策、⑥模擬試験など、直前対策編では①時事問題解説セミナー、②論・作文セミナー、③面接・マナーセミナー、④学内企業説明会、⑤模擬試験、⑥公務員ガイダンス（公務員合格者発表会、模擬集団討論、面接指導など）などを行います。

2月 福岡地区合同企業説明会

福岡地区で行われる合同企業説明会に、大学からバスを運行します。

■ 就職対策講座

公務員試験対策講座（2・3年生対象）※

開講時期：平成15年11月～平成16年10月

公務員受験予備校として実績が高い外部業者と提携し、良質な講義を安価に提供します。2年生には、公務員試験の主要5科目について演習を交えたビデオ講義、生講義を実施し、3年生には学内外講師により実践的な問題等解説講義を行います。

また、希望者には、合宿、模擬試験、二次試験対策などを実施します。

簿記検定講座（3級・2級）※

検定試験に向け、学内講師による生講義形式で行います。1年生から受講できます。

旅行業務取扱主任者

外部業者と提携し、良質な講義を安価に提供します。1年生から受講できます。

行政書士

外部業者と提携し、良質な講義を安価に提供します。1年生から受講できます。

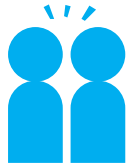
（注意）

※印の講座は後援会特別講座助成講座のため、後援会会員は特別価格で受講できます。

日程、申込み方法等詳細情報については、実施前に学内掲示等でお知らせしますので、各自で掲示を注意してご覧ください。



学生の声



ベトナム学生との交流

環境共生学部
生態・環境資源学専攻 2年
アジアごみPICA隊長

佐志 綾乃さん

アジアごみPICA隊は、生態・環境資源学専攻の2年生5人組で、顧問は篠原教授・深津研非常勤職員のと井さんです。講義で、アジアのゴミ問題が緊急課題として注目されていることを知って以来、その解決に向けて活動を続けています。

今回活動の一環として、8月15日から8日間、ベトナムホーチミン市に赴きました。今年の3月以来、2度目の訪問です。今回の目的は、3月に引き続きホーチミン市の最終処分場の調査、ホーチミン市農業森林大学環境技術学科の学生グループとの交流、の2つでした。

初日は、セミナーを行い、お互いの国のゴミ処理システムについてプレゼンテーションやディスカッションをしました。セミナーには、私たちは浴衣で、彼らはアオザイでの登場でした。次の日は、現地学生グループと共に処分場に赴き、3月以降の動向を調査しました。その後、一緒にホームステイや国内旅行も体験しました。普通の観光旅行とは異なり、ベトナム現地の生活文化や自然を十分に満喫できました。

これらの活動を現地学生と共有することで、単なる友人ではなく、アジアでごみ問題に興味を持ち活動す



▲セミナー後にホーチミン市農業森林大学の学生グループと



▲ホーチミン市の Tam Tan 処分場での調査風景

る仲間同士になれたと感じます。次に会うときまでに、もっと互いの英会話力をつけていようね、と約束しました。これからも彼らグループと協力関係を続けながら、日本での自分たちの活動をがんばりたいと考えています。今は、10月に北九州市で開かれる「第一回アジアユース会議」に出場する準備をしています。最後にありますが、国際協力活動やアジアのゴミ問題に興味があり、何かやってみたいと熱い思いを抱えている人!! そんなあなたにもできることがあるかもしれません。ぜひ、篠原先生やと井さん、そしてアジアごみPICA隊に声をかけてください。力になれるはずです。

● サークル便り ●

剣道部

私たち剣道部は、週3回、第二体育館柔剣道場で練習を行っています。部員構成は、4年1名、3年4名、2年4名、1年5名の計14名です。数年前までは、部員数も少なく、団体戦の人数にも満たないほどでした。しかし、部員勧誘の努力もあり、安定して団体戦に望むことができるようになってからは、団体チームとして徐々に力をつけていきました。

そしてついに、先日の8月31日に行われた全州学生剣道大会において、男子団体が三回戦出場を果たし、九州内の大学でベスト16入りという快挙を成し遂げました。特に接戦であった二回戦は、大将戦まで引き分けとなり、チームから代表者一名を出して戦う代表戦に結果がもつれこみました。手に汗握る展開でしたが、一年生の志垣孝行くんが見事に相手に一本を決め、三回戦に出場することができました。

総合管理学部
総合管理学科 3年
前嶋 宏美さん

員のやる気もますます高まり、夏休みの暑い時期ではありますが次の試合である11月31日のインカレに向けて、練習を頑張っています。なお、女子部員の方は団体戦のフルメンバーに若干足りないため、部員勧誘も積極的に頑張っていきつくりたいです。これからどんどん成長していく剣道部に注目ください。



この試合を経験し、部

「大学案内」パンフレット

作成を終えて

総合管理学部 総合管理学科3年

牧田みちるさん

「パンフレット作成を手伝いませんか？」

雑誌編集に興味を持ちながらも何も動けずにいた私はこの言葉に飛びつきました。何か見えるかもしれない。「学生スタッフ主体の作成を手伝います。」

手伝いだと聞いて集まった私たちが最初の打ち合わせで耳にした業者の方からの一言。その日から、私のこれまでの学生生活で最も時間に追われた毎日が始まりました。

いかにして県大の魅力を最大限に、そして分かり易く伝えるか。討論を繰り返し、人選、交渉、原稿作成、さらにはカメラのシャッターも切りました。講義やバイトの合間を縫ってのスケジュール調整、直前の予定変更や原稿訂正。そんな繰り返しに愚痴をこぼしながらも、作業を進めるスタッフの間で笑いは絶えず、忙しく動き回る毎日に充実感を覚えている自分がいました。締め切り直前に最終原稿を提出。完成したパンフレットを手にとると達成感が顔がほころびました。

一つのものを作り上げることの大変さと楽しさ、何事においても一歩を踏み出すことの大切さ、全ては自分次第ということを改めて気付かせてくれた貴重な経験となりました。

多くの人の協力を得てできた楽しい一冊です。皆さん是非手に取ってみてください。



▲牧田みちるさん（写真右）

学んだ後に大切なこと

インターシップを体験して

総合管理学部 総合管理学科3年

中島 瞳さん



この夏、公募制の企業インターシップに参加し、多くものを得ました。

一つ目は全国の大学生との繋がりでです。合宿形式だったため、そこに集まった学生の学年・学部・地域は幅広く、自分とは違った目でモノを見ることができるとちと語り合い、多くの刺激を受けることができました。

二つ目は、就職活動へ向けてのイメージを持てたことです。実習テーマが人事部門の来年度新卒採用手法の企画立案や、内定者研修会への参加だったため、実際に就職活動を経験した人や採用側の話を聞くことができ、自分が企業を選ぶ上で、企業のどの部分を重視して選びたいのか？どのようなキャリア形成を目指したいのか？など、自分なりの就職活動へ向けての準備が出来ました。

三つ目は、自分の強みと弱みを再認識できたことです。自分自身を見つめなおし、これからのような意識を持って過ごしていけばいいのかということを見付けることができました。

この体験を通じて実感したことは、大学の授業にしても、アルバイトにしても、サークルにしても、ただ学ぶだけならそれはもったいないということです。この体験から自分は何を得たいのか？何を成長させたいのか？という問題意識を持った上で行動し、その後、結果をフィードバックして今後の活動に生かす。これが大切なことだと思いました。

合唱部

県大合唱部は現在十数名で活動しています。

昨年まで部員の減少が続き、日々の活動がどんどん縮少し、組織体系さえも曖昧になっていたのですが、大好きな音楽を、合唱を通してできるだけたくさんの人と楽しみたい、そのためにはどうすればよいのだろうか、という、部員達の強い気持ち部を支え、動かし、過去の状況を打開すべく部員が一丸となって努力を続けています。

その努力で、今少しづつではありますが、週に二〜三回の練習時間を設けて、日本語以外に英語やラテン語、ドイツ語などの曲に挑戦し、小中学校の音楽の授業での合唱とはまた違う響きや雰囲気、気の合唱を創りながら楽しんでいきます。主な活動として、入学式や卒業式の他に、現在は白亜祭でステージを復活できるように練習を続けています。また十二月には教会に行き、ミニ演奏会を神父さんと一緒に開かせていた

たく予定です。

また、他大学の合唱部とも互いに積極的に交流しており、今後お互いに良い関係を築いていきたいと思っています。

県大合唱部は今からももっと合唱を楽しめる部になるように、試行錯誤と努力を続けていきます。

Come and Join the CHORUS



総合管理学部
総合管理学科2年
主将 小柳 三紗さん

後援会便り

後援会とは、

- 本学在学生の父母またはこれに準ずる者を会員として組織されています。
- 大学の教育事業を後援し、大学と家庭及び社会との協力によって、大学教育の成果をあげることを目的としています。

平成15年度後援会評議員会、総会の開催

去る6月21日に、学内で評議員会及び総会が開催され、評議員29名、会員174名の方に、参加いただきました。

平成14年度事業報告、収支決算、平成15年度事業計画、収支予算及び役員の改選、新評議員の選任について審議され、いずれも承認されました。

また、総会終了後には各学部に分かれ、学部長はじめ教員数名と会員の方との懇談会が行われ、質疑応答等活発な交流が行われました。

平成15年度後援会役員

●会長	永田好文	●常任評議員	菅野道廣(学長)
●副会長	蕨野節雄		江藤明道(事務局長)
	吉田伸夫		梅林誠爾(文学部長)
●監事	百家裕幸		大和田紘一(環境共生学部長)
	福島淳		中宮光隆(総合管理学部長)
			古賀実(学生部長)

平成15年度事業の新たな動き

1 「就職支援資格取得講座等助成事業」の新設

学生の就職活動を支援するため、就職活動に有利な資格取得又は市民講座の受講に対して、経費の一部を助成する制度を新設しました。

具体的な対象の範囲、助成の額等、詳しくは、後援会事務局までお問い合わせください。

2 学生貸出用パソコンの機種更新

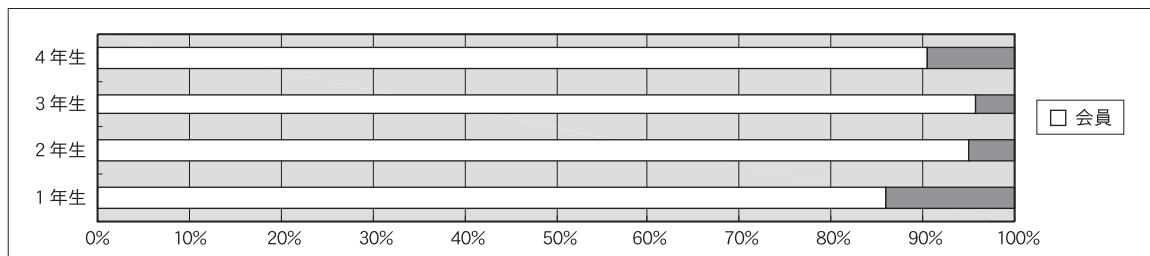
貸出用ノートパソコンが10月から全て最新機種に更新されます。また、中央コンピュータ室内における無線でのネット利用が可能になりました。レポート作成や情報収集等積極的に活用してください。

機種 NEC PC-VA20SRXUI 台数 24台 貸出場所 中央コンピュータ室

後援会事業のその他の内容については、後援会事務局までお問い合わせください。

後援会会員の状況

平成15年9月1日現在の会員の加入状況は次のとおりです。



会員は、会費納入者数（一部納入を含む）

後援会事業は、会員の皆様の会費によって賄われており、本会の活動を支えていくためには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。

後援会会費及び納入方法等については後援会事務局までお問い合わせください。

● 後援会事務局 熊本県立大学内 中島（内線237）・上杉（内線204） ●

国際交流

韓国海洋大学校との 交流協定締結

本学の理念の一つである「国際性の推進」に基づき、国際交流を一層推進するため、韓国・釜山にある韓国海洋大学校と学術交流協定を平成15年7月9日に締結しました。韓国海洋大学校は1945年に設立された国立大学で57年の伝統を持つ韓国唯一の海洋・海運及び関連分野の人材を養成する特性化された総合大学です。今後は、教員や学生間の交流を図る予定です。



モンタナ州立大学 ビリングス校短期研修団来日

協定校であるアメリカ・モンタナ州立大学ビリングス校からの短期研修団を平成15年5月25日から9日間、12名の研修団を受け入れました。研修団はホームステイをしながら、日本語授業を含むプログラムの授業を中心に日本文化体験や阿蘇

研修にも参加し、本学の学生と交流を図りました。

韓国祥明(サンミョン) 大学校短期研修団来日

韓国・忠清南道の祥明大 学校からの短期研修団を、平成15年6月30日から7月9日までの10日間受け入れられました。今年で14回目となりますが、ホームステイをしながら日本語授業や、阿蘇研修、サークル交流などの行事を通して、日韓の学生交流を図りました。

ホストファミリーの感想では、韓国の学生は日本語が上手で何も問題なかった。阿蘇研修(そば道場など)では、すごく楽しめたとのことでした。また、9月には本学から祥明大 学校に短期研修団を派遣し、ホームステイをしながら韓国の学生やホストファミリーと交流しました。



公立大学 法人化の検討

国立大学では、平成16年度から、「国立大学法人」として、法人化されることが決定しています。公立大学である本学については、設置者である熊本県において、「熊本県立大学あり方検討会議」が設置され、その中で、公立大学法人化も含め、本学のあり方が検討されています。10月には、会議からの報告がなされ、その後、熊本県としての本学のあり方の方針を検討する予定になっています。

外国語教育センター からのお知らせ

TOEIC® を受験しよう！

TOEIC® (トイック Test of English for International Communication) は、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界基準のテストです。TOEIC® には、各団体が日程や場所を自由に設定して試験を行うことができる団体特別試験制度があり、外国語教育センターでは、この制度を利用して、年2回、学内でTOEIC® IP (団体特別試験) を実施しています。

このTOEIC® IP (団体特別試験) は、公開テストより安価に(公開テ

附属図書館からの お知らせ

最近配架しました図書をご案内します。紙面の関係で一部しか紹介できませんが、他にもたくさん配架しています。大いにご利用ください。

新刊図書の御案内

ゲノムから始める生物学 (坂本順司)

子ども虐待問題の理論と研究 (シンディ・Lミラー)

自治力の発想 (村山嘉宣)

日本人の精神構造 (会田雄次)

ニューロンから心をさぐる (櫻井芳雄)

裸の経済学 経済はこんなに面白い (チャールズ・ウィーラン)

伝記カウディ (ヘイス・ファン)

家族に何が起きているのか (ステフォニー・クーンツ)

コンピュータグラフィックの概論 (小堀研一)

ITで人はどうなる (斎藤正男)

抗生物質では治らない：猛威をふるう薬剤耐性菌 (マイケル・シユナイアソン)

ハイブリッドウーマン (遙洋子)

感染夢 (明野照葉)

この国のはじまりについて (司馬遼太郎)

漱石先生お久しぶりです (半藤一利)

その他

図書館利用時の注意事項

※入館する場合は学生証(又は図書館利用証)を入館ゲート前の機器(バーコードリーダー)で読み取らせてください。館内には飲食物の持ち込みは禁止です。

※視聴覚資料(ビデオテープ等)は館外貸出しできません。

※貸出図書については返却期限を厳守してください。

人事

名誉教授

*平成15年5月29日授与

飯尾 雅嘉

(元 生活科学部教授)

*平成15年6月26日授与

秋山 喜文

(元 総合管理学部教授)

野村 武

(元 総合管理学部教授)

三島 淑臣

(元 総合管理学部教授)

月	日	内 容
10月	1日	後期授業開始
	7日	公務員講座説明会
	8日	大学院文学研究科入学試験(秋季募集)
	上旬	3年次就職ガイダンス
	//	簿記講座開講(2級、3級)
	//	TOEFL®対策講座・留学対策講座開講(～12月)
	中旬	3年次就職セミナー(準備編、～12月)
//	4年次民間企業内定者発表会	
16日	公務員合格者発表会	
24日	第1回公開講演会	
30日	第2回公開講演会	
11月	上旬	公務員講座開講(3年:～H16.3、2年:～H16.10)
	//	3年次進路・就職個別ヒアリング(～1月)
	8日	学園祭「白亜祭」(～9日)
	12日	第2回地域講演会(姫戸町)
	22日	第3回公開講演会
	下旬	九州インカレ冬季競技大会
	25日	第3回地域講演会(宮原町)
	28日	第4回地域講演会(植木町)
30日	特別選抜(推薦、社会人、帰国子女)入学試験	
12月	上旬	外国人留学生との交流会
	13日	第2回TOEIC® IP
	24日	冬季休業(～1月8日)
	25・26日	公務員講座合宿
1月	9日	授業再開
	17・18日	大学入試センター試験
	31日	授業料第3期分納期限
2月	3日	後期試験(～10日)
	7・8日	大学院アドミニストレーション研究科入学試験(春季募集)
	10日	大学院環境共生学研究科入学試験(二次募集)
	上旬	平成16年度授業公開講座(前期・通年)募集(～2月下旬予定)
	12日	特別選抜(私費外国人)入学試験
	12日	大学院文学研究科入学試験(春季募集)
	12日	第5回地域講演会(熊本市)
	25日	一般選抜入学試験(前期日程)
	中旬	3年次就職セミナー(直前対策編)
	//	モンタナ州立大学ボーズマン校冬期研修派遣(約3週間)
下旬	インターンシップ(5日間)	
下旬	祥明大学校短期留学生派遣(1年間)	
3月	12日	一般選抜入学試験(後期日程)
	14日	卒業式(於:熊本市民会館)
	25日	春季休業(～4月8日予定)

* 期日は変更となる可能性がありますので、学内掲示板により確認するか、担当課までお問い合わせ下さい。

熊本県立大学

発行: 熊本県立大学
〒862-8502 熊本市月出3丁目1番100号
TEL. 096(383)2929(代) FAX. 096(384)6765
http://www.pu-kumamoto.ac.jp/

15 総 熊本大

③ 005

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

平成15年度後期イベントお知らせ

●公開講座

■公開講演会

国内の著名な方を本学に講師として招聘し、学生及び県民の皆さんに公開しています。(受講は無料です)

	開催日時	会場	テ ー マ	講師名
第1回	平成15年10月24日(金) 14:30～16:00	17番 講義室	自然の災害と人間が 生きること	京都大学大学院 教授 小林正美 氏
第2回	平成15年10月30日(木) 14:30～16:00	中講義 室 3	テレビが変える日本 のことば ーテレビ制作30年の現場からー	朝日放送(株) 局長プロデューサー 松本 修 氏
第3回	平成15年11月22日(土) 13:00～17:00	大講義 室	熊本型サステナブル 社会の可能性	放送大学 教授 鈴木基之 氏

■地域講演会

本学の教員を県内の各市町村へ派遣し、市町村と共催により、地域住民の方々が興味をお持ちの文化・環境・教育等についての講演会を無料で公開しています。

開催日時	開催会場	テ ー マ	講 師 名
平成15年11月12日(水) 10:00～11:30	姫戸町老人福 祉センター	最近の環境問題	環境共生学部 教 授 篠原 亮太
平成15年11月25日(火) 9:45～11:00	宮原町公民館 多目的ホール	徒然草の周辺	文学部 助教授 鈴木 元
平成15年11月28日(金) 14:00～15:30	植木町生涯学 習センター 多目的ホール	高齢者と財産管理	総合管理学部 教 授 赤松 秀岳
平成16年2月12日(木) 13:30～15:30	熊本市南部公 民館ホール	教育と子育て	文学部 教 授 弘谷多喜夫

■授業公開講座

本学では、県民の方々に対して、大学の正規の授業を公開しています。半年又は1年間継続して、本学学生と一緒に受講できます。受講生の募集は、年に2回(2月と8月)行います。平成16年度前期(通年)講座の募集は平成16年2月上旬～下旬の予定です。

●受講料(1講座につき)

半年間 5,000円 1年間 10,000円

●白亜祭

■期日: 平成15年11月8日(土)・9日(日)

■場所: 熊本県立大学キャンパス内

■内容: ミス・ミスター白亜コンテスト、カラオケ大会、出店団体ランキング、更には芸能人お笑いライブ『江戸むらさき』の大きく分けて4つの企画を用意し、ご来場される皆さんに楽しい時間と空間をご提供します。

ご意見・感想募集

本誌についてのご意見・ご感想を下記にお寄せください。みなさまのお声を参考に、今後の学報編集を行っていきたくと考えておりますのでよろしく願いいたします。

〒862-8502 (住所記載不要)

熊本県立大学地域交流センター「春秋彩」担当行

FAX: 096-384-6765

E-mail: souki@pu-kumamoto.ac.jp